

## (載 德豊 様 講演本文)

皆様、こんにちは。私はタイと申します。このたび、日本食海外普及功労賞表彰大会に出席することができまして、大変光栄に思います。農林水産大臣賞を受賞することができて、大変うれしく思います。

私は香港に生まれ、1971年、香港フォーシーズという会社を設立しました。その年から日本のお菓子を輸入しましたが、私は日本のお菓子の香港市場の開拓者と言えます。当時、日本のお菓子は香港では普及していませんでした。香港で売られているお菓子は、ほとんど中国大陸や欧米からのものでした。

私は、71年にこの会社を立ち上げました。当時は非常に小さな会社でしたが、いまは香港に上場する最大の食品会社に発展しました。この37年間、同僚と一緒に毎日、香港の大型スーパーやデパート、コンビニなどへの日本のお菓子や食品の売り込みに力を入れてきました。日本の食べものは、香港でなくてはならないものになってきました。

私は日本の食べものが非常に好きです。私がいま毎日考えているのは、いかにして日本の新しいお菓子をすぐ香港に輸入するかということです。96年に日本のお菓子の専門店をオープンしましたが、Okashi Landという名前にしました。現在、このような店はすでに70店舗に増え、このような店舗で日本の新しいお菓子、新しい食品などを紹介しています。香港の消費者は毎日のようにOkashi Landを訪れ、日本の新しいもの、新しい食べものなどを求めています。日本のお菓子の普及に、大きな貢献をしたと言えると思います。

この37年来、日本の食べものの香港での普及に成功し、81年ごろからは大陸市場の開拓に力を入れています。その間、日本のお菓子メーカー、全日本菓子輸出工業協同組合連合会などと一緒に努力して中国の各都市で展示会などを開催し、普及のために大きな力を果たしてきたと言えます。

日本のお菓子メーカーの皆様は中国を視察いただいたり、中国に投資していただいたり、ということにも力を入れてきています。日本の多くの企業、たとえば三菱商事、日本のお菓子メーカーの明治製菓、明治乳業、東ハト、ニコニコのり、カンロ、カルビー、ポッカコーポレーションなどとも非常に密接な関係があります。

これらの会社はいま私の非常によいパートナーで、私たちは中国の市場開拓と一緒に力を入れています。これから、さらなる大きな業績を挙げていきたいと考えています。

私は、お菓子以外の日本食品の普及にも力を入れています。現在、日本レストランを十数軒持っていますが、近藤貿易という会社も買収して傘下に置いています。近藤貿易は、現在、香港で最大の日本食材サプライヤーになっています。

私は食品関係の仕事をしていますが、光栄にも中国政府からも業績を認められ、現在、中国の全国政治協商会議の常務委員になっています。中国の全国政治協商会議は日本の参議院

に相当する機関ですが、その機会を利用して、さらに中国を理解し、中国の市場に関する私の経験などを今後とも活用していきたいと考えています。そして、もっともっと大きな力を果たしていきたいと考えています。

このたび日本農林水産大臣賞をいただきましたが、これは私にとって非常に大きな励ましになります。これからは中国の関係や経験を十分に活用し、日本のパートナーと協力して、香港、中国市場で発展を遂げていきたいと決意しています。最後に日本政府、そしてご在席の皆様に感謝申し上げ、皆様のご健勝をお祈りいたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。(拍手)